

村治佳織プロフィール



東京都出身。3歳より父、村治 昇の手ほどきによりギターを始め、ソルフェージュとピアノも共に幼少から学ぶ。10歳より福田進一氏に師事。今日に至る。

1989年ジュニア・ギターコンテストで最優秀賞、同年、および1990年には学生ギターコンクールで連続優勝。1992年春、新田日本交響楽団とアレンジエス協奏曲を共演。9月、レオ・フローウェル国際ギターコンクール、12月には、東京国際ギターコンクールでそれぞれ史上最年少優勝を果たした。

1993年3月、津田ホールにてデビュー・リサイタル開催。10月、ビクターエンターテインメントの専属アーティストとして、デビュー・アルバム「エスプレッシィヴォ」をリリース。レコード芸術誌、新聞等で高い評価を得てベストセラーとなる。11月には、カザルスホールにてCD発売記念リサイタルを開催し高い評価を得た。1995年1月にリリースしたアルバム第2弾「グリーンスリーブス」はレコード芸術誌他で「特選」として最高の批評を受け、また、クラシック・チャート売り上げで第1位に輝いた。さらに、イタリア国立放送交響楽団のソリストとして共演。3月には、東京交響楽団との共演など精力的な演奏活動に対して、第5回出光音楽賞受賞。さらに、1996年1月、村松賞受賞。また、5月にはイタリア国立放送交響楽団の定期演奏会（その他、数回）に招聘され、アレンジエス協奏曲（ロドリゴ）を演奏し、絶賛された。1996年7月、イタリア（シエナ）のキジアーナ音楽院の夏期講習会に参加。同7月にアルバム第3弾「シンフォニア」をリリース、再びクラシック・チャート第1位に輝いた。初の全曲オリジナル・ギター作品集（ロドリゴ）集「パストラル」もレコード芸術誌で特選を得るなど大絶賛を受けた。また、最新作「カヴァティーナ」は、映画音楽などポピュラー色の濃いレパートリーをまじえた内容のためか、より広い層にアピールし大ヒットを記録。

1997年よりパリ・エコールノルマルに留学。1999年帰国。同年6月より全国35ヶ所のコンサートツアーを展開する。

また、テレビでも、NHK「ミッドナイトジャーナル」「青春メッセージ」「おはよう日本」「シリーズ挑戦」「トップランナー」、テレビ朝日「ニュース・ステーション」「微子の部屋」や、TBS「モーニング・EYE」「情熱大陸」への出演など、今や各局からの出演依頼は多い。

名手ラッセルをして「これほどすぐれた音楽的才能を身につけた若いギタリストに、かつて会ったためしがない」と言わしめたギタリスト。現在、最も注目を集めている期待されるギタリストである。

Anon. Greensleeves, Four Old Scotch Music / JS Bach
Menuet BWV 114, Menuet 115 / PCE Bach. Marche
BWV 122, Plonaise BWV 125, Marche BWV 124 / JS
Bach Musette BWV 126, Menuet BWV. 132, Menuet
BWV 114, Sinfonia BWV 156 / Handel Ombra Mai Fu,
Sonata A-dur / Mertz Caprice. op. 50 / Paganini Caprice
op. 1-23.

村治佳織 1997年8月31日初版発行 1999年10月1日第3版発行
コード番号 ● ISBN 4-87471-167-7 C3073Y2200E Printed in Japan
1-16-14 Chihaya, Toshima-ku, Tokyo 171-0044, JAPAN
First edition : August 31, 1997 Third edition : October 1, 1999

録音や楽譜、演奏会などの出版権を権利者に譲渡して
著作権を譲渡するとは、権利者（私的利用など
を除く）は権利者の同意なく複製したり、公
衆送信したり、譲渡したりすることは出来
ません。
また、出版権からの譲渡はコピーが行なわれ
ない限り有効です。つまりは録音や
楽譜の複製は著作権者の同意なく行な
うことは出来ず、著作権者（JASRAC）は、専
断的複製権、譲渡権、譲渡権の行使を認
める権利を有しています。
吉